



宗像大社三宮の境内地が
世界文化遺産国内推薦候補に選定

〜平成二十九年夏、登録の見通し〜

二年後の平成二十九年に国連教育・科学・文化機関（ユネスコ）世界文化遺産委員会に、文化遺産として推薦する国内候補地を選定する文化審議会の特別委員会が七月二十八日文化庁で開かれた。その結果、四件の候補地のなかから宗像大社の沖ノ島全域、大島の中津宮、沖津宮遙拝所、宗像本土の辺津宮（以上宗像市）、福津市の新原・奴山古墳群の五つで構成される福岡県の「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産郡が選定された。

本件は平成十三年に世界遺産を目指した市民運動が始まり、市・県に登録推進室が設置され、広報活動や資産の整理等が進められ、平成二十一年に暫定リストに登録、今夏国内推薦候補に選定された。

観光という一面のみが報道されることの多い世界遺産だが、今後も沖ノ島等の在り方が変わることはない上に、登録されればユネスコや行政の力も加わり、より厳格な保全方法を考えることができるようになる。



平成ノ大造営

時満ちて
道ひらく



守りたい環境がある。



育てたい才能がある。



届けたい楽しさがある。



支えたい人がいる。

安心をカタチに、生きがいをデザインする麻生グループ

麻生グループ
WE DELIVER THE BEST

<http://www.aso-group.jp/>

残暑御見舞い申し上げます

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群



世界遺産登録への流れ

平成27年7月28日
文化審議会が平成29年登録の候補を選定

平成28年2月1日迄
政府が推薦を閣議了解ユネスコに推薦書提出

平成28年夏〜秋
ユネスコ諮問機関イコモスの現地調査

平成29年4〜5月
ユネスコ諮問機関イコモスが登録の可否を勧告

平成29年夏
ユネスコ世界遺産委員会で登録審査

文化審議会の
選考対象4件

() 内は所在都道府県



宗像大社御神酒醸造元
勝屋酒造合名会社

社長 山本 博次
福岡県宗像市赤間4丁目1-10
TEL(0940)32-3010 <http://www.katsuyashuzo.com>

地球に優しいひとときを…
Genkai Group

玄海グループ

〒811-3502 福岡県宗像市江口978-52
TEL 0940-62-0653 FAX 0940-62-1565
URL <http://www.genkai-g.co.jp>

(有)玄海環境サービス (宗像市・許可業)

- 一般廃棄物収集・運搬
- 浄化槽の維持管理

玄海クリーン(有) (宗像市・委託許可業)

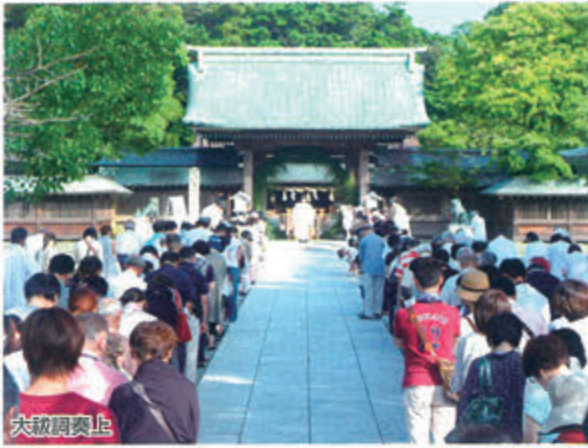
- 一般・産業廃棄物収集・運搬・処理

残暑御見舞い申し上げます

夏越の大祓式

七月三十一日午後五時、夏越の大祓式が神門前にて古儀に則り厳肅に齎行され、約五百名の方々が参列され、無病息災・家内安全を祈念した。当日は早朝より宗像大社協力会の御奉仕により、直径5mにも及ぶ濃緑の茅の輪が奉製され、神門に備え付けられた。

古来、この茅の輪を潜れば罪穢れ・災難を祓い、暑さにも負けず、健やかな生活を送ることができるといわれている。



大祓式調奏上

定刻、全国

から寄せられた「紅白の人形」を納めた唐櫃が茅の輪の前に供えられ、葦津宮司



以下神職・巫女・多数の氏子崇敬者等が参列し、大祓式を齎行。まず、葦津禰宜が「大祓詞」を宣読、続いて参列者は事前に配られた「切麻」で祓い、「祓物」に息を吹きかけ切り裂き、半年間の罪穢れを祓い清めた。次に宮司以下参列者全員で、

水無月の夏越の祓へする人は

千歳の命延といふなり

思ふこと皆つきねとて麻の葉を

切りに切りても祓ひつるかな

宮川の清き流れに禊せば

折れることの叶わぬはなし



夏越祭 (本殿)

と古歌を奉唱しながら、左右左右と茅の輪を潜り、本殿へと参進した。引き続き、本殿にて夏越祭が齎行され、葦津宮司が皇室・国家の繁栄、氏子崇敬者をはじめ、皆様の無病息災・家内安全を祈念する祝詞を奏上、巫女による「豊栄舞」が奉奏され、祭典は滞り無く終了した。

茅の輪奉製・人形配布作業に御奉仕頂いた皆様には、紙面を以ちまして厚く御礼申し上げます。



宗像建設協力会

事務局 〒811-3217 福津市中央6丁目2-28
TEL (0940)42-0323

株式会社 **井上建設**

〒811-3217
福津市中央6丁目2-28
TEL 0940-4210323
FAX 0940-4210327
井上 重信

株式会社 **桜井建設**

〒811-3217
福津市中央2丁目1-9
TEL 0940-4211818
FAX 0940-4211816
桜井 孝弘

株式会社 **篠崎建設**

〒811-3215
福津市内殿一〇二・九
TEL 0940-4210675
FAX 0940-4210675
篠崎 剛

株式会社 **田畑建設**

〒811-3219
福津市西福岡三・一五〇
TEL 0940-4210513
FAX 0940-4210513
田畑 博規

株式会社 **日新建設**

〒811-3431
宗像市田原四丁目一三六
TEL 0940-362231
FAX 0940-364798
長尾 榮次

松本組建設株式会社

〒811-3501
宗像市神湊一〇〇二
TEL 0940-621016
FAX 0940-621016
松本 真誠

残暑御見舞い申し上げます

中津宮七夕祭

七夕発祥の地「大島」、夜更けまで賑う

晴天に恵まれた八月七日、大島・中津宮の七夕祭にあわせ、本年も「元気な島づくり事業推進協議会」による各種イベントが共催され、満点の星空の下、彦星と織姫の一年に一度の「逢瀬」の一刻が演出され、島は夜半まで賑わいをみせた。

当日は早朝より沖・中両宮奉賛



七夕踊り



七夕祭

会、同敬神婦人部をはじめ島内各種団体の御奉仕により、渡船ターミナルから中津宮にかけて笹竹が装飾され、島は七夕の雰囲気一色に彩られた。

午後より島外からの参拝者も続々と大島を訪れ、夕刻にはイベント会場となる港湾緑地公園は浴衣姿の老若男女で溢れた。そして大島心響太鼓などのステージイベント、中津宮にて結婚奉告祭をされたご夫婦のお披露目イベント、大島特産品の抽選会等が催された。

日没になると大島小・中学生によつて境内に据えられた竹灯が点

灯され、周辺は幻想的な雰囲気になり、午後八時、「牽牛神社」に「織女神社」の御前で厳肅に七夕祭を斎行。斎主が年に一度仕え奉る逢瀬を言祝ぐ祝詞を奏上、次に参列者はそれぞれの祈りを込めて玉串を捧げた。

祭典後、今年も「赤い糸プロジェクト」が行われ、司会による中津宮七夕伝説が朗読される中、「牽牛神社」と「織女神社」を結ぶように空中に通されたチューブの中を赤い発光液が流れ、両宮が赤い糸で結ばれ、と参拝者から歓声が上がった。

最後は島を訪れた人も島民も一つの輪になり伝統の七夕踊りが奉納され、燈籠明かりのなか神人音楽の一夜を共にした。

午後九時三十分には臨時渡船が出され、島外の参拝者はそれに乗船し大島をあとにし帰路についた。

この中津宮七夕祭の歴史は鎌倉時代まで遡ることができ、以来島民によつて絶える事無く伝承されてきた神事であり、各家庭や施設においても七夕飾りをして次世代へ受け継がれている。



宗像タクシー部会

〒811-3436 宗像市東郷1丁目5番2号
連絡先 TEL(0940)36-6555

新星交通有限会社(会長)

代表取締役 森 正彦
宗像市東郷一丁目五番二号
東郷営業所
TEL 〇九四〇・三六・二一三八

みなとタクシー株式会社

代表取締役 古野 浩
宗像市赤間駅前二丁目三番一四号
TEL 〇九四〇・三三・一三三一

宗像西鉄タクシー株式会社

取締役 清水 洋一
支配人 宗像市自由ヶ丘二七三
TEL 〇九四〇・三二・四一三一

宗像グリーンタクシー有限公司

代表取締役 藤瀬 政敏
宗像市河東一〇六一
TEL 〇九四〇・三三・三三〇三

宗像平和タクシー株式会社

代表取締役 塩川 浩一
宗像市中央三丁目八一
TEL 〇九四〇・四二・〇〇四〇

福栄タクシー有限公司

代表取締役 保井 享
福津市西福岡二丁目一〇・一三
TEL 〇九四〇・四二・〇三三三

宗像交通有限会社

代表取締役 塩川 浩一
社長 福津市津屋崎七一九五
TEL 〇九四〇・五二・〇〇一五

残暑御見舞い申し上げます

第60回 中津宮七夕揮毫会

約一五〇名の児童が、大島の歴史と自然を満喫

宗像大社で最も歴史ある神賑行事で、今年六十回の節目を迎えた七夕揮毫会が、七月三十日県内各地より幼稚園児から中学生まで約一五〇名の子供達が参加し、大島・中津宮で開催された。

当日は好天に恵まれ、開催地大島の子供達はもとより、県内外各地から多くの子供達とその保護者が続々来島、揮毫会場である



大島小・中学校の校舎へ移動した。

校舎内の多目的ホールに設けられた席上で、参加児童は日頃の成果を発揮しようと筆先に神経を集中させ、清書時間三十分の限られた時間内で書き終えた三枚の中から自備作一枚を中津宮に提出した。

正午過ぎ、全作品が中津宮に提出されると神前に奉納し奉告祭を斎行、参加児童の学業成就と健康を祈念する祝詞が奏上され、その後福岡書道会の先生方によって厳正な審査が行われた。

その間、緊張から開放された子供達は中津宮前の砂浜で、恒例のサザエ拾いや海水浴を楽しみ大島の自然を満喫した。



午後三時には審査も終わり、早速境内回廊に入選作品が展示され、拝殿前にて表彰式が行われた。渡邊榎宜による主催者挨拶に続き、松原宏仙審査員長の講評、入賞者へ賞状とトロフィーが授与され全ての日程を終えると、参加児童らは受賞品とサザエ、島での思い出を胸に喜々として神社をあとにした。

大島は我国における七夕伝説発祥の地とされ、旧暦の八月七日に七夕祭が斎行されており、昭和三十一年より神徳宣揚と書道教育振興を目的とした揮毫会をこの時期に開催してきた。

七夕揮毫会開催に際し、一方ならぬお世話を頂いた大島小・中学校、福岡書道会をはじめ関係各位の皆様は紙面を借り厚く御礼申し上げます。

玄海国立公園の中心
一風光明輝、生魚料理、宗像大社となりー

玄海ホテル旅館組合

魚屋本店 ☎(0940) 622122

魚屋別館 ☎(0940) 623355

御宿はなわらび ☎(0940) 620107

玄海旅館 ☎(0940) 620001

玄海ロイヤルホテル ☎(0940) 624111

国民宿舎ひびき ☎(0940) 621288

高嘉旅館 ☎(0940) 621221

松風荘 ☎(0940) 620120

みなと荘 ☎(0940) 622255

ホテルAZ
福岡宗像店 ☎(0940) 383301

残暑御見舞い申し上げます



7月21日 本会議の壇上で講話する葦津宮司

「Summit of Conscience for the Climate 気候良

ス・パリで開催された国際会議

国連気候変動パリ会議(COP21)にむけて、フラン

フランス・パリの「気候変動良識サミット」に招待され 葦津宮司と共に宗像の高校生2人が参加

「Summit of Conscience for the Climate 気候良識サミット」に、葦津宮司と共に、平成二十六年度宗像国際育成プログラムで黒田賞を受賞した宗像の高校生、安部奈都美さん(双葉高校1年)、本多奈和さん(宗像高校1年)が招待を受け、世界の有識者に宗像を紹介した。

七月二十一日の本会議では、フランスのオランダ大統領の招聘により、アイルランドのヒギンズ大統領、モナコのアルベル二世、国連元事務総長のアナン氏、ユネスコのポコヴァ事務局長をはじめ、世界の宗教者や研究者が招待され、「Why do I care? (なぜ私は配慮するのか)」というテーマのもと、環境を守る為に、今自分達に何が出来るかが話し合われた。葦津宮司は壇上で、自然を恐れ敬う神道の自然観を語りつつ安倍、本多両高校生にも宗像のことを話させた。

七月二十三日には、「宗像環境国際1000人会議」をテーマにした特別フォーラムがユネスコ本部



7月23日の特別フォーラムでのスピーチ



昭和15年頃のナカマル醤油本店

創業嘉永三年(1850年)
伝統に支えられた宗像神湊の味。
ナカマル醤油醸造元
宗像市神湊1118
TEL 0940-62-0003 FAX 0940-62-0353



暮らしの夢を大きくひろく **城山家具**
宗像市三郎丸(旧国道3号線・三郎丸バス停前)
☎0940-33-5538(代表) FAX 0940-33-6351
<http://www.shiroyamakagu.jp>



SRの専門
上田清商店
〒811-3304
福岡県福津市津屋崎4丁目16-6
Tel 0940-52-0148 Fax 0940-52-5488

宗像農業協同組合
本店 代表理事組合長 川口 正利
宗像市東郷4丁目3番1号 TEL 0940-36-4110
田島支店 支店長 渋谷 力
宗像市深田 61-2 TEL 0940-62-1515



宗像大社御神酒
合資会社 **伊豆本店**
代表者 伊豆善也
福岡県宗像市武丸1060
TEL 0940-32-3001 FAX 0940-33-0512

あらゆる印刷のご用命は…
中川印刷
福津市宮司1丁目8-32
電話 0940-52-0044
FAX 0940-52-0414

残暑御見舞い申し上げます



オランダ大統領(中央)

で行われ、安部、本多両高
 校生が、誇りある文化と
 歴史を持ち、今も自然と
 共生している宗像を英語
 で紹介し、様々な有識者、
 文化人らと積極的に交流
 した。

神職新人紹介

8月1日付で、神職1名が
 新たに奉職致しましたので、
 ご紹介致します



吉田 久賀

昭和53年1月25日生(37歳)

出身/福岡市東区原田

経歴(学歴)/

私立泰星学園高校

國學院大学 文学部 神道学科

熊野那智大社(5年間)和歌山県

波上宮(9年間)沖縄県

特技(趣味)/釣り・ダーツ

(過去にプロ資格取得)

好きな食べ物/肉

嫌いな食べ物/かぼちゃ・カキ

尊敬する人/鈴木イチロー

奉職理由・抱負/

地元である福岡へ十九年ぶりに

戻ることとなり、今回一線あつて

宗像大社にご奉仕させて頂くこ

とになりました。学生の時から

数えて、他社での十八年間の経験

を生かし、宗像大社の皆様ととも

に地域の発展に尽くしてまいり

ますので、ご指導ご鞭撻の程宜し

くお願い致します。

宗像大社 秋季大祭

(田島放生会)の
 ご案内



宗像大社秋季大祭(田島放生会)日程

10月 1日(木)	みあれ祭 (海上神幸)	9:30	大島港出港	10月 3日(土)	三日祭	11:00	於=辺津宮 本殿 浦安舞 奉奠
	一日祭 (入御祭)	10:30	神湊港入港		高宮秋季大祭 第二宮・第三宮 秋季大祭 宗像護国神社 秋季大祭	三日祭終了後引き続き、 各社に分かれ同時斎行 (11:40頃を予定)	
10月 2日(金)	流鏝馬神事	12:00	於=辺津宮 本殿 主基地方風俗舞 奉奠	献茶祭	14:00	於=辺津宮 本殿	
	二日祭	8:00	於=神門前 参道	高宮神奈備祭	18:00	於=辺津宮 高宮祭場 悠久舞 奉奠	

当大社最大の神事、
 秋季大祭を下記日程で
 斎行致します。
 皆様の御参拝を心より
 お待ち申し上げます。

お問い合わせ先
 宗像大社 社務所
 (0940)62-1311(代)

宗像・玄海の観光物産品卸
花田食品株式会社
 代表取締役 花田 洋
 宗像市田熊4丁目10-8 TEL 0940-36-5533

出光興産株式会社販売店
 キャルレンタカー&リース
吉井商事株式会社
 代表取締役 吉井 瑛海
 TEL 0940-62-0004 FAX 0940-62-3343

創業大正七年 鮮魚・海産物
おやま
 福岡県宗像市神湊1141
 TEL 0940-62-0006(代)
 FAX 0940-62-2143

食肉小売卸仕
株式会社 おかやま
 岡山 稔彦
 福岡県宗像市神湊1000
 TEL 0940-62-0134
 FAX 0940-62-2914

遠藤クリーニング
 代表 柴村 勲
 〒811-3501 宗像市神湊635
 Tel 0940-62-0217

食料品・青果・たばこ
田中商店
 福岡県宗像市神湊1052
 TEL・FAX 0940-62-0122

残暑御見舞い申し上げます

宗像護国神社戦没者慰霊祭

終戦七十年の節目に当たり八月十五日午後七時、日清日露戦争より大東亜戦争までに戦没された、宗像・福津市内二千五百余柱の英霊を祭る宗像護国神社にて戦没者慰霊祭・田島千灯明が当大社神職が奉仕し宗像・福津市の遺族会、田島区関係者約四十名参列

のものと斎行された。参列者は蠟燭に照らされた境内で御英霊に思いを馳せられた事と思う。大東亜戦争終戦の日、何かと他の話題で騒がしい昨今だが、我国の礎となられ散華された御英霊に対し恥ずかしくない未来の為に努力を怠ってはならない。

元マレーシア首相マハティール氏来社

講演のため来日されていたマハティール・ビン・モハド氏が、八月六日夫人とともに来社された。夕刻多くのSPに囲まれながら

来社されたマハティール氏は境内を散策、続いて神宝館をご覧になり、通訳を介してではあったが葦津宮司の説明に熱心に聞き入っておられた。同氏は九十歳になられるが、その立ち振

る舞いは若々しく、神宝館をご覧になられた後、次のようなメッセージを残されています。



「1300年前、この都市(宗像地域)において、日本と他国の間に国際貿易が始まったことを目撃した。その文化遺産が詰まった非常に興味深い博物館である(原文は英文)。」

マレーシアの首相を二十二年間務められ、世界平和を目指し国際的に活躍できる若者の育成に期待を寄せるマハティール氏、今後益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



福かき(熊手)
福み、縁起物全般
初詣、十日戎祭用品
製造卸

えびすしまだ(株)

〒669-1211
宝塚市大原野字北宮本11番地
TEL 0797-91-0044 FAX 0797-91-1330



【授与品と装束】

京都奉製株式会社

本社営業所 京都市左京区静海市原町1291-25
電話 (075) 741-3221

フリーダイヤル 0120-164124

福岡営業所 福岡市博多区板付5-3-11
電話 (092) 592-3015



被災した沖津宮遙拝所



沖ノ島法面工事内容の打合せ



被災直後の沖ノ島法面

時満ちて道ひらく

造営日記 ⑱

現在進む

「災害復旧工事」

昨年八月、集中豪雨により沖ノ島法面が崩壊し参道が被害を受け、翌々月の十月には、大島北側の沖ノ島を拝す沖津宮遙拝所が台風により被害を受けました。

どちらも国の史跡に指定されていることから県と市に相談し、今年度国庫補助事業として復旧する運びとなりました。

沖ノ島法面については、七月末に設計監理業務委託業者並びに宗像市の文化財担当者として沖ノ島に渡り、工事内容の最終確認を済ませ、沖津宮遙拝所については既に工事が始まっており、ともに年内完工にむけて事業を進めています。

大島の沖津宮遙拝所復旧工事期間中は、ご参拝の皆様にご迷惑をおかけすることがあるかと存じますが、何卒ご容赦願います。尚、工事期間中(本年末迄)でも、沖津宮へ遙拝はできますのでどうぞお参りください。

宗像の漁家と農家の手作りの味道の駅むなかたレストラン



おふくろ食堂
はまゆう

TEL (0940) 62-2821

店休日

毎月第4月曜・盆・年末年始

営業時間

午前11時～午後4時

オーダーストップ 午後3時半

折尾名物 かしわめし弁当

株式会社
東筑軒

北九州市八幡西区堀川町4-1

TEL (093) 601-2345

(受付時間 年中無休 8:00～17:00)

FAX (093) 601-2570

ホームページ

<http://www.tochikuken.co.jp/>

残暑御見舞い申し上げます

御造営奉賛者御芳名

(平成二十七年五、六、七月) (順不同・敬称略)

一〇,〇〇〇,〇〇〇円
 中央区
 水天宮宮司有馬 頼央
 福岡市
 株式会社アラヤシキDuO
 代表取締役社長
 田丸 伸一
 福岡市 葦津 敬之
 七〇〇,〇〇〇円
 須恵町
 宗教法人根本山 宝満堂
 一〇五,〇〇〇円
 福岡市 中村 太郎
 一〇〇,〇〇〇円
 伊賀市 円応教親愛教会
 長谷川恵子
 京都市 京都製鉄株式会社
 代表取締役正田 聡
 倉敷市
 花田青果株式会社
 福岡市 正法事門法華宗
 正法山瑞祥院 吉永 泰像
 五〇,〇〇〇円
 伊賀市 円応教親愛教会
 黒田 関男
 三〇,〇〇〇円
 ときがわ町 野口 本和
 豊中市 横山 翼
 名古屋市長谷川秀樹
 福岡市
 株式会社 有心
 略 款

二八,〇〇〇円
 茨木市 占部 博
 伊賀市 円応教親愛教会
 黒田健太郎
 黒田 大助
 長谷川兼喜
 深井 徹
 福岡市 義治
 森 大樹
 森 智也
 森 裕章
 宇都宮市 河辺 圭一
 宇部市 藤本 達子
 大津町 池浦 秀隆
 春日市 石井 武
 葛飾区 黒田 尚宏
 川越市 松村 修
 北九州市 北野 重
 北九州市 北野 良子
 北九州市 野村 浩一
 品川区 小湊 太翔
 新潟市 スプリングハート
 松岡 咲樹
 目黒区 船橋 晴雄
 横浜市 小島 弘之
 八,〇〇〇円
 宗像市 奥 正彦
 六,〇〇〇円
 廿日市市 松原ひさみ

五,〇〇〇円
 飯田市 百瀬 拓郎
 伊賀市 円応教親愛教会
 森 一實
 北林 常美
 長谷川佳代
 深井 悟
 深井 宗子
 福岡市 福島 勇気
 宇治市 岡田 眞一
 大阪府 村上司法律事務所
 村上 幸敬
 忍足 和貴
 勝浦市
 北九州市
 株式会社 桑原電気工事店
 桑原 勝也
 北九州市 大石 剛史
 北九州市 門田 佳子
 北九州市 亀石 一伸
 北九州市 佐田實恵子
 合志市 永野恵美子
 神戸市 後藤 英三
 小牧市 杉田 知子
 坂出市 白藤 太一
 札幌市 吉岡 浩幸
 世田谷区 城戸 智朗
 長崎市 片田 尚孝
 名古屋市長谷川秀樹
 田淵まゆみ
 南国市 白山 早苗
 蓮田市 佐藤 成悟
 姫路市 小坂 明
 福岡市 株式会社

九州あいおいサービス
 箕原 俊晴
 福岡市 占部 清藏
 福岡市 貝原 和子
 福岡市 下山 桂子
 福岡市 田尻 啓介
 福岡市 辻原 志信
 福岡市 中村 太郎
 福岡市 松尾やす子
 前橋市 斗南美術協会
 本間 邦樹
 宗像市 柴村八重子
 宗像市 中嶋 清孝
 宗像市 本田 博子
 天草市 松中 幸寿
 農志枝
 三,〇〇〇円
 糸島市 國分 一美
 糸島市 國分 浩一
 大阪市 石田 雅子
 鹿児島市
 (有)ゴトウパッケージ産業
 後藤 新吉
 川口市 田中 武文
 北九州市 桑原 圭子
 西宮市 飯田麻紀子
 福岡市 竹富 理英
 福岡市 御手洗 淳
 文京区 井草翠依子
 南足柄市 加藤 晶代

盛岡市 森川 由紀
 二,〇〇〇円
 足立区 山野 愛子
 天草市 松中美恵子
 天草市 松中 祐二
 宇部市 大塚 政寛
 宇部市 郡 理恵子
 大分市 水橋 恒司
 大分市 井坂 清志
 大分市 大沼 隆雄
 大分市 村瀬 君夫
 大田区 藤井 昭則
 大田区 山崎 幸男
 大津町 松中優理子
 大牟田市 野見山美代子
 川崎市 中村 明子
 北九州市 岡野ヨシエ
 北九州市 折田 邦博
 北九州市 下小牧国博
 北九州市 柴尾 睦
 北九州市 溝田 俊一
 熊野町 小田 博志
 熊本市 大橋 工
 倉敷市 九野 栄子
 倉敷市 九野 浩
 江南市 丸井 章夫
 江南市 丸井 修恵
 相模原市 奥村 浩光
 相模原市 志野原喜久子
 佐世保市 久家 和人
 新宿区 木村 友美

杉並区 児玉勇太郎
 太宰府市 伊藤 聡
 中央区 苗川 早苗
 中央区 松本 勝雄
 土浦市 木田 侑恵
 那珂川町 齋藤佳之介
 名古屋市長谷川秀樹
 五十嵐政智
 名張市 花岡 孝男
 西宮市 柏原多賀子
 西宮市 坂口 正敏
 延岡市 吉田 修三
 日野市 浦 忠弘
 宮本かおり
 広島市 宮本かおり
 広島市 亀迫 勝義
 広島市 亀迫 恵子
 広島市 松岡 春美
 広島市 松岡洋次郎
 福岡市 緒方 源彰
 福岡市 辻原 志信
 福岡市 中尾真理恵
 福岡市 林 摩樹
 福岡市 酒井袈井子
 藤沢市 川手 雅嗣
 富士見市 塚本 恭子
 別府市 本田 麻也
 みよし市 夏目 恒男
 宗像市 柴村 和廣
 宗像市 柴村 孝子
 宗像市 やまね眼科医院
 横浜市 長崎 恭美

(続)

浜の寄物

302

いしただし



取り込み原油という。精製一
号、テレピン油は塗料、靴墨の
溶剤、殺虫剤の原料に用いら
れ、またオクタン価が高く、太
平洋戦争中「航空機燃料」と
して集められた。大
戦末期の産額は
一九四五年八三〇〇
トン を最高に戦後
一九四八〜五十年は
年間六五〇〇トンで
あった。松根油の採取
は松の幹や根部で樹
皮をはぎ、木部を出して幹を
縦に一本彫り、左右に切り込
みを入れ、流れ出る油を採取
する。東南アジアのゴム液採
取と似ている。幹に彫りをつ
けたものを「樹皮切傷法」で
ある。戦争中の学童が動員さ
れ松根部を切りとっている写
真もある。

「協議録」に「松根油元木割当に
関する件」には、吉木は
四千二百メ(貫)の割当であっ
た。同年十月の農商省の通達
「松根油緊急増産対策措置要
綱」に、十月から五ヶ月間を増
産期間として学童達も動員し
たとある。

先述したように花見海岸を
歩きはじめた頃は幹に松根油
を採った跡が残っていたが木や
樹皮が大きくなって樹皮を覆
うようになり、私もすっかり
忘れてしまっていた。西日本
新聞に連載していた「故郷の海」
(一九八五年八月十日62回)に
は版面と共に松根油について
触れている。今年には戦争後
七十年だが、美しい海岸の松
にも戦争の記憶が残っていた。
松林歩きをしている家内は古
賀市の松林にも数本残ってい
ると言っていた。余談になる

福津市花見松原も平成
二十三年頃からふくま郷づく
り会(花見一・二区の住民)と
福岡中学生等が協力し、松林
の清掃を月に1回している。
枯松の伐採や植樹、案内板、
巣箱づくり、ベンチなども設
置され、見違えるほどの松林
となり、ジョキングや森林浴、
散策する人達も多くなってい
る。行政も支援をしてゴミの
回収や松喰虫にやられた松の
伐採を行っている。

花見松原に最近二本の木柱
が建てられている。「太平洋
戦争中石油不足を補うため松
脂を採取した跡」と「松脂採
取跡の傷」である。太平洋戦
争末期には石油が不足、その
ため艦船や航空機も動かさせな
い状態となっていた。松類に
は松根油が含まれているので、
それを採取して航空機の燃料
に使った。松根油について「百
科辞典」に次の
ように記されて
いる。「針葉樹
の根を乾留(空
気を遮断して固
体有機物を加熱



福岡市空襲展に展示のカルタ

福津市の花見松原(苅目川)
古賀市中川の間にある小川
に橋が架けられて、古賀市か

ら福津市の海岸道路は「歩い
てん道」の名称がつき、散策す
る人も増え、また、夕刻に相
島沖に落ちる太陽は絶景であ
る。



福津市花見洗

太平洋戦争中 石油不足を補うため松脂を採取した跡

分解し、揮発分を冷却・回収
する操作)で得られる油、普通
にはマツ類の根から得ること
が多い。アカマツ、クロマツ根
は11%、24%、ヒノキ、ヒバ根
は6%、10%、エゾマツ、トド
マツ根は6%内外である。」
乾留に際し初めてでてくる
部分には木酢液の上層に浮かび
この部分を松根油ということ
もある。あとに出てくる部分
は油とタールが混じりあい松
根タールともいう。前後の留
出部分を合わせたものを松根

遠賀郡岡垣町吉木(三里松
原)にも松根油の
記録がある。昭和
十九年十二月
十七日吉木区の



が古賀花見の松
は古木も多く、住
民達によってよく
管理されている。

第六四九回

宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日/切



宗像市 日の里 秋吉 嘉範

木洩れ日の差し込む大社に巫女の舞国宝守る宗像人よ

良い景だが、一首にするには内容が多い。作者はそれだけ思い入れが強いのだろう。「木洩れ日の差せる国宝の御社に巫女ら舞いおり浦安の舞」として見た、国宝を守る宗像人で別に一首を。

北九州市 八幡西区 豊田 光子

残生の限りある日よわが干支七度迎へ今日誕生日

作者は八十四歳のお誕生日を迎えられたのだろう。残生に限りがあるからこそ、一日一日を大切に生きる決意をされたのでは。三句(わが干支を)と助詞をいれて。

宗像市 多禮 早川 祥三

掻傷を競いほおぼるつぶつおは舌に残りしなわしろいちご

二句切れの歌と読んだ。採る時に棘でできた掻き傷を見せ合いながら木苺を食べる子供たちの様子が懐かしさを誘う、作者の過去の体験だろう。四句(舌に残れる)に。

福津市 若木台 山崎 公俊

晴れの日の神殿の屋根聳えゐる砂金秘めたるさまに光れる

「砂金秘めたるさま」の喩に作者の獨創性が光る。初句の晴れの日をお正月か、大祭なのかなど具体的にすると、季節も分かり、読者も光景をより想像しやすくなるだろう。

宗像市 宮田 山本 静子

当番さんの忘れし日めくりそつとはぐ七月十四日那智の大祭

上の句がとても良い、作者の人柄も分かるようだ。一読し那智に行かれたのかと思つたが、下の句は剥いだ紙に書かれた文字なのだろう。「七月十四日・那智の大祭」と括弧に入れては。

宗像市 池田 森 龍子

芥出し日の記憶は脳か嘴か人間われは鴉に恐れる

ゴミ出しの曜日をしつかり記憶し、ゴミ袋をあさる鴉。厄介者だが、賢さに恐れ入る作者がユーモラス。三句の嘴の飛躍が活かしている。結句は(鴉を恐る)で。

宗像市 田久 巻 桔梗

ライバルは巢立ちてひさし銀髪をひとり占めにして晩酌す

夫人を愛してやまない作者。初句は息子さんか。ライバルでは下の句のひとり占めと合わせて闘いのイメージになり、内容と合わないので抑えて「子供らは」ではいかが。

宗像市 日の里 大和美由紀

金鳳花咲きし野道は夏に入り白詰草の白き花咲く

自然観察に目の利く作者。一首の中で金鳳花の艶のある黄と詰草の白の対比が爽やか。結句は(はな白く咲く)と倒置して白を強調したい。

◆選者詠

肌ぶとん身に引き寄せて目覚めたり

初秋のあさ濃きねむりから

街灯のひかりのなかの鈴懸が

しきりに零す雀子のこゑ

第六二二回

俳句作品集

宗像市 多禮 早川 祥三

藤椅子のタバコの傷も祖父の眉

編集後記

行きたかつた知覧には行けませんでした

が、長崎の原爆資料館へ。数年前訪れたことはありましたが、今回は有科音声がイドを聞きながら見学。原子爆弾の凄まじさ、戦争について今ある平和について改めて考えさせられました▼数日後、福津の花火大会に：夜空をキャンパスに一瞬輝き、一瞬で消える。綺麗だ。一年間この一瞬の為に職人が作り、会場設営等関わった色々な人の思いの込められた：花火。この日は長崎に原爆が投下された八月九日。七十年前の今日、こんなに平和な日が来ることを想像できたのか。そんな思いに駆られました。今を生きる私たちは未来の為に本気で考え、行動しなければ、全力で生きなければ▼観光の一面が大きく取り上げられる世界遺産、二年後の世界遺産本登録へ向け、「未来永劫守り伝える」という本場の主旨を発信し伝えられるよう全力で頑張ります。(鈴)

発行所

宗像大社社務所・宗像会

住所 千八二一三五〇五

福岡県宗像市田島三三三

電話 (〇九四〇)六二二二二二(代)

発行人 葦津幹之

編集人 大塚宗延・鈴木祥裕

制作・印刷 ゼネラルアサヒ

毎月1日発行 定価1年送料共 1,000円

9月祭事暦

- 1・15日 月次祭 午前10時～ 高宮祭 第二宮・第三宮祭 宗像護国神社祭(1日)
- 午前11時～ 総社祭 ※1日は引き続き風鎖祭斎行 浦安舞奉奏(1日) 豊栄舞奉奏(15日)
- 23日 皇靈殿遷拜式 午前10時～
- 31日 秋季大祭宵宮祭 総社地主祭 午後5時～ 宵宮祭 午後6時～